

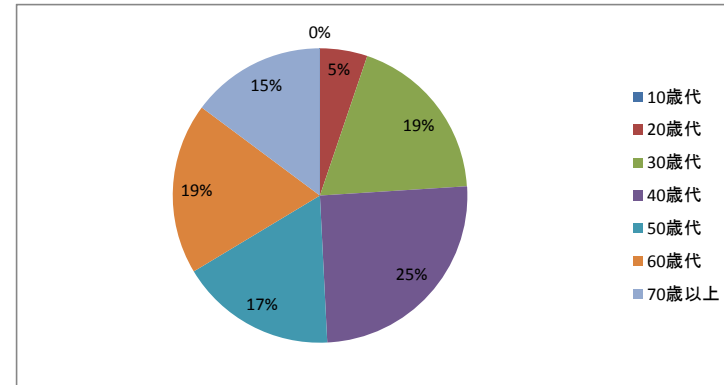
第6回 障害や障害のある人に対する意識についてのアンケート

【アンケート実施期間】 令和元年10月17日～令和元年10月31日

【アンケートの目的】 金沢市では、障害のある方の生活全般の向上をめざして、令和2年度に次期ノーマライゼーションプラン金沢（第5次障害者計画）及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画を策定します。安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料とするため、障害や障害のある人に対する意識調査を実施します。

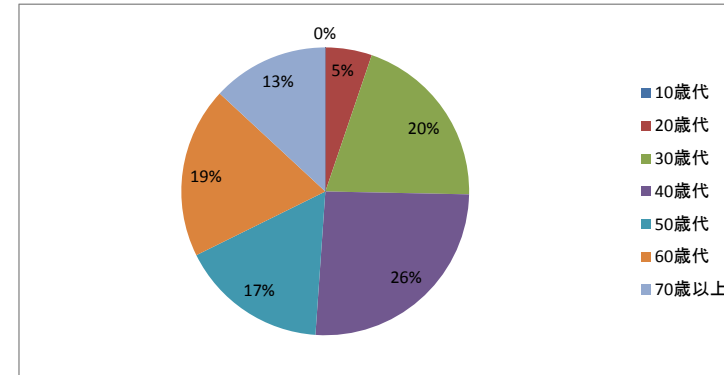
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	13	5.2
30歳代	47	18.8
40歳代	63	25.2
50歳代	43	17.2
60歳代	47	18.8
70歳以上	37	14.8
計	250	100.0



【回答者数】 229 名

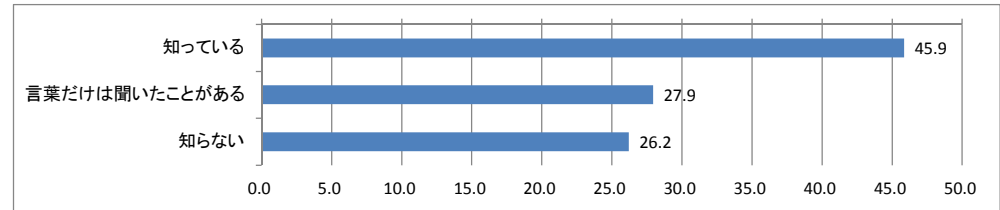
内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	12	5.2
30歳代	46	20.1
40歳代	59	25.8
50歳代	38	16.6
60歳代	44	19.2
70歳以上	30	13.1
計	229	100.0



【回答率】 91.6 %

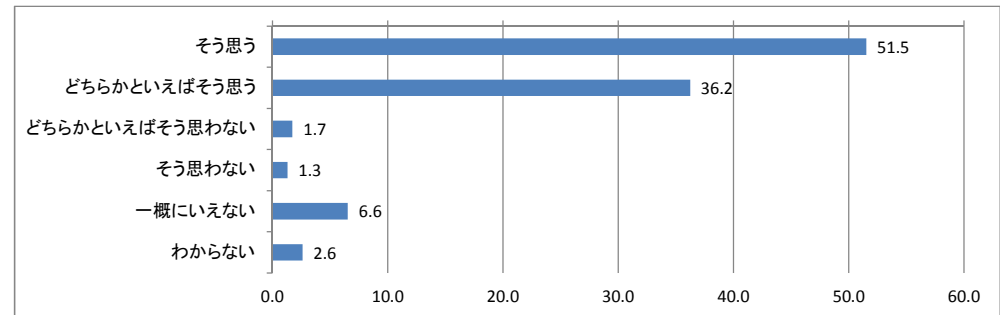
問1 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。

回答	人数	%
知っている	105	45.9
言葉だけは聞いたことがある	64	27.9
知らない	60	26.2



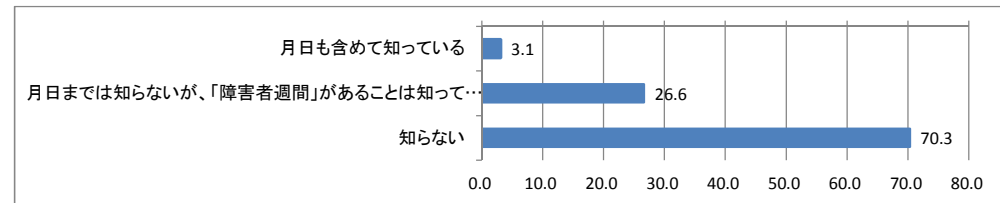
問2 行政では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前」という考え方について、どう思いますか。

回答	人数	%
そう思う	118	51.5
どちらかといえばそう思う	83	36.2
どちらかといえばそう思わない	4	1.7
そう思わない	3	1.3
一概にいけない	15	6.6
わからない	6	2.6



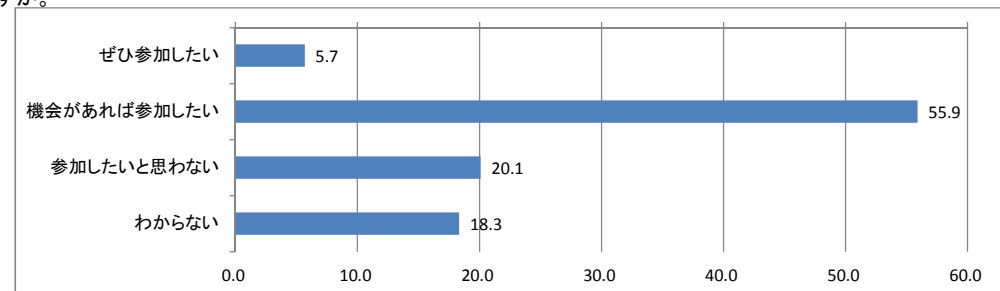
問3 国は、障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定めて、さまざまな取り組みを行っています。あなたは、「障害者週間」を知っていますか。

回答	人数	%
月日も含めて知っている	7	3.1
月日までは知らないが、「障害者週間」があることは知っている	61	26.6
知らない	161	70.3



問4 障害のある人に対する理解を深めるためのさまざまな行事や催しに参加してみたいと思いますか。

回答	人数	%
ぜひ参加したい	13	5.7
機会があれば参加したい	128	55.9
参加したいと思わない	46	20.1
わからない	42	18.3

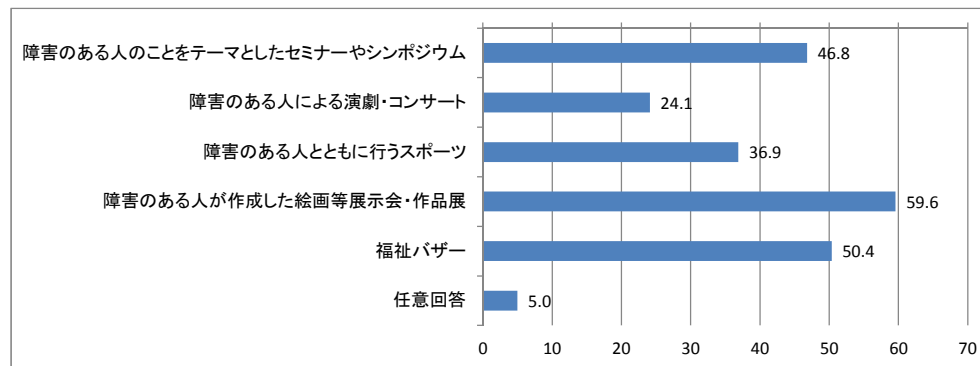


問4-1 問4で「1. ぜひ参加したい」、「2. 機会があれば参加したい」と答えた方におたずねします。どのような行事や催しに参加したいと思いますか。
(該当するものすべてを選択)

回答	人数	%
障害のある人のことをテーマとしたセミナーやシンポジウム	66	46.8
障害のある人による演劇・コンサート	34	24.1
障害のある人とともに行うスポーツ	52	36.9
障害のある人が作成した絵画等展示会・作品展	84	59.6
福祉バザー	71	50.4
任意回答	7	5.0

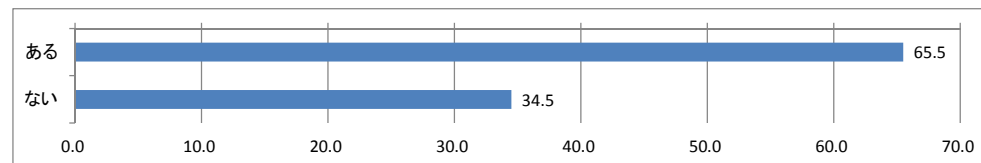
任意回答

- ・子供達と障害のある人とふれ合える時間があればいいと思う。
- ・ワークショップみたいなの。対障害者ではなく、障害のある人とともに何かすること。
- ・障害のある人とその家族との話の場 直接話をする機会
- ・交流
- ・障害のある方が働くカフェを利用した事あります



問5 あなたは、障害のある人が困っているときに、手助けをしたことがありますか。

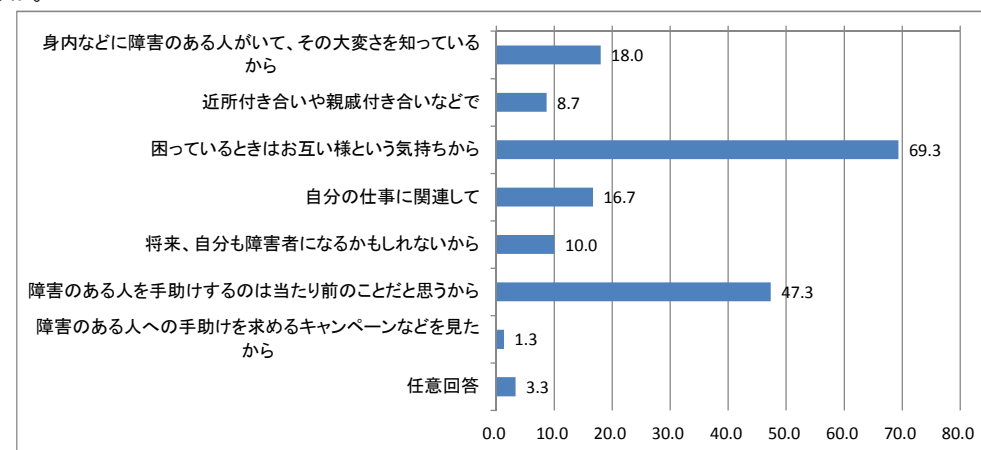
回答	人数	%
ある	150	65.5
ない	79	34.5



問5-1 問5で「1. ある」と答えた方におたずねします。それはどのような気持ちからでしょうか。
(該当するものすべてを選択)

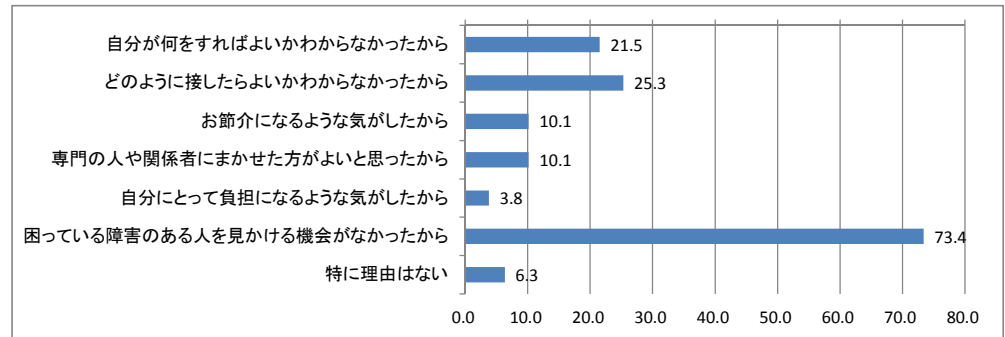
回答	人数	%
身内などに障害のある人がいて、その大変さを知っているから	27	18.0
近所付き合いや親戚付き合いなどで	13	8.7
困っているときはお互い様という気持ちから	104	69.3
自分の仕事に関連して	25	16.7
将来、自分も障害者になるかもしれないから	15	10.0
障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから	71	47.3
障害のある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから	2	1.3
任意回答	5	3.3

- ・困っている人に障害者も健常者もないと思うので「困っている人だったので助けた」という思い
- ・頼まれたので。
- ・自分よりひどそうだったから…
- ・自分が身体障害者だから、その大変さを知っているから
- ・障害の有無に関わらず、困っていたから。



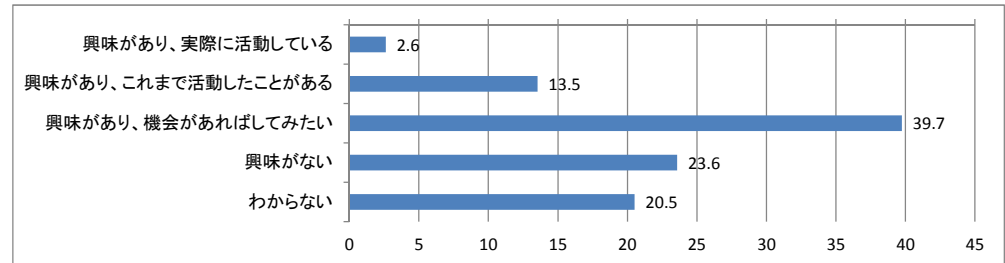
問5-2 問5で「2. ない」と答えた方におたずねします。手助けをしたことがなかったのはどうしてでしょうか。
(該当するものすべてを選択)

回答	人数	%
自分が何をすればよいかわからなかったから	17	21.5
どのように接したらよいかわからなかったから	20	25.3
お節介になるような気がしたから	8	10.1
専門の人や関係者にまかせた方がよいと思ったから	8	10.1
自分にとって負担になるような気がしたから	3	3.8
困っている障害のある人を見かける機会がなかったから	58	73.4
特に理由はない	5	6.3



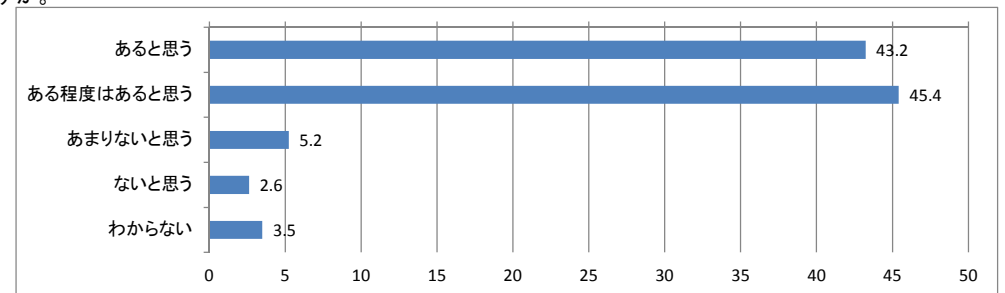
問6 あなたは、障害のある人にかかわるボランティア活動（外出時の付き添い、話し相手、レクリエーションの手伝い等）に興味がありますか。
(いずれか1つ選択)

回答	人数	%
興味があり、実際に活動している	6	2.6
興味があり、これまで活動したことがある	31	13.5
興味があり、機会があればしてみたい	91	39.7
興味がない	54	23.6
わからない	47	20.5



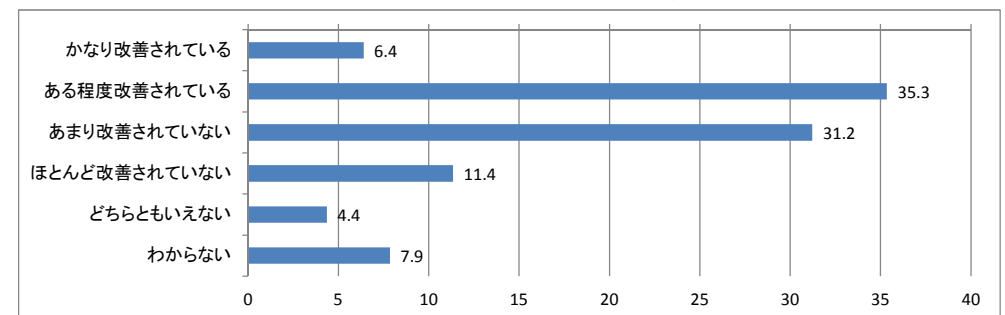
問7 あなたは、世の中には障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

回答	人数	%
あると思う	99	43.2
ある程度はあると思う	104	45.4
あまりないと思う	12	5.2
ないと思う	6	2.6
わからない	8	3.5



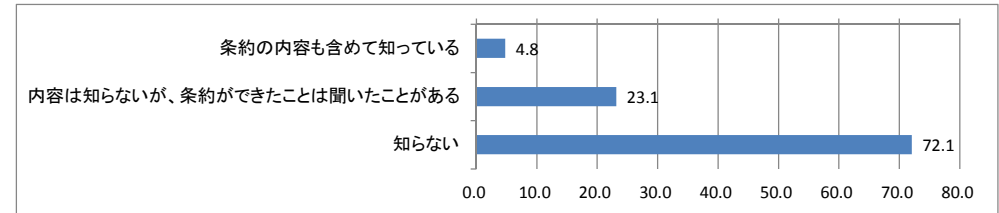
問7-1 問7で「1. あると思う」、「2. ある程度はあると思う」と答えた方におたずねします。あなたは、5年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。

回答	人数	%
かなり改善されている	13	6.4
ある程度改善されている	76	35.3
あまり改善されていない	69	31.2
ほとんど改善されていない	26	11.4
どちらともいえない	10	4.4
わからない	18	7.9



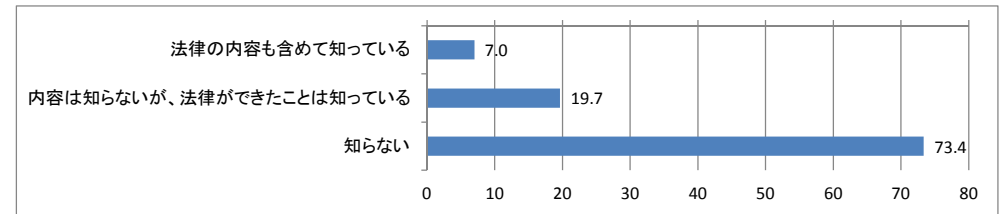
問8 いわゆる「障害者権利条約」は、国連が障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定めた条約です。日本は、この条約を平成26年1月に批准しましたが、あなたは、この条約のことを知っていますか。

回答	人数	%
条約の内容も含めて知っている	11	4.8
内容は知らないが、条約ができたことは聞いたことがある	53	23.1
知らない	165	72.1



問9 障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きる社会づくりを目指すため、平成28年4月からいわゆる「障害者差別解消法」が施行されています。あなたは、この法律を知っていますか。

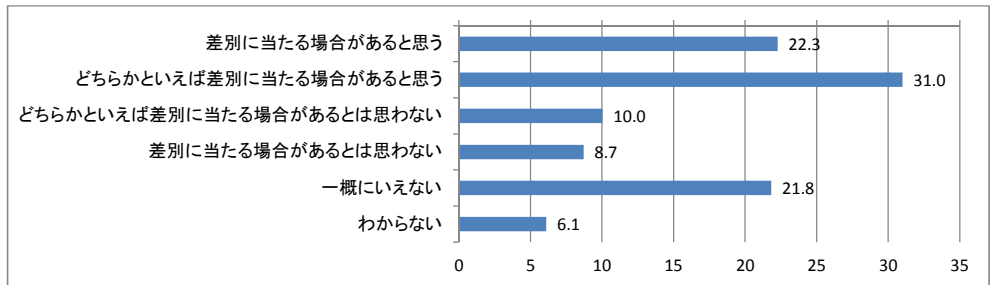
回答	人数	%
法律の内容も含めて知っている	16	7.0
内容は知らないが、法律ができたことは知っている	45	19.7
知らない	168	73.4



障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、受付窓口で耳の不自由な方に筆談で対応したり、商店で高い棚にある商品を店員が代わりに取ってあげたりするなど、さまざまな配慮や工夫が必要になることがあります。

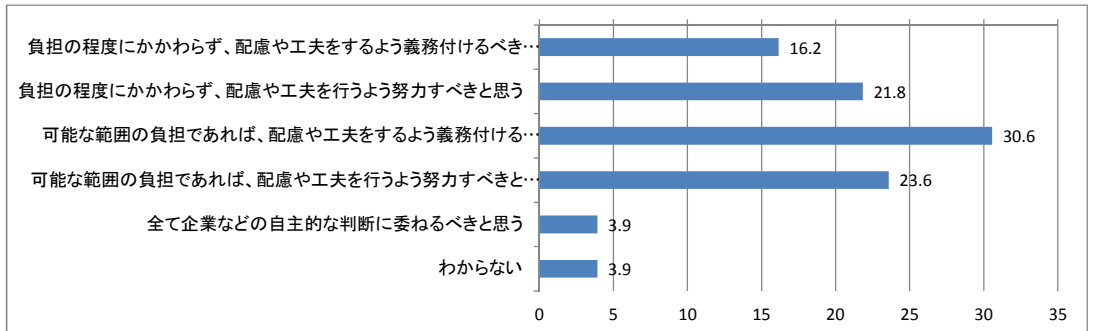
問10 あなたは、もし、こうした配慮や工夫が行われなかったとしたら、それが「障害を理由とする差別」にあたる場合があると思いますか。

回答	人数	%
差別に当たる場合があると思う	51	22.3
どちらかといえば差別に当たる場合があると思う	71	31.0
どちらかといえば差別に当たる場合があるとは思わない	23	10.0
差別に当たる場合があるとは思わない	20	8.7
一概にいけない	50	21.8
わからない	14	6.1



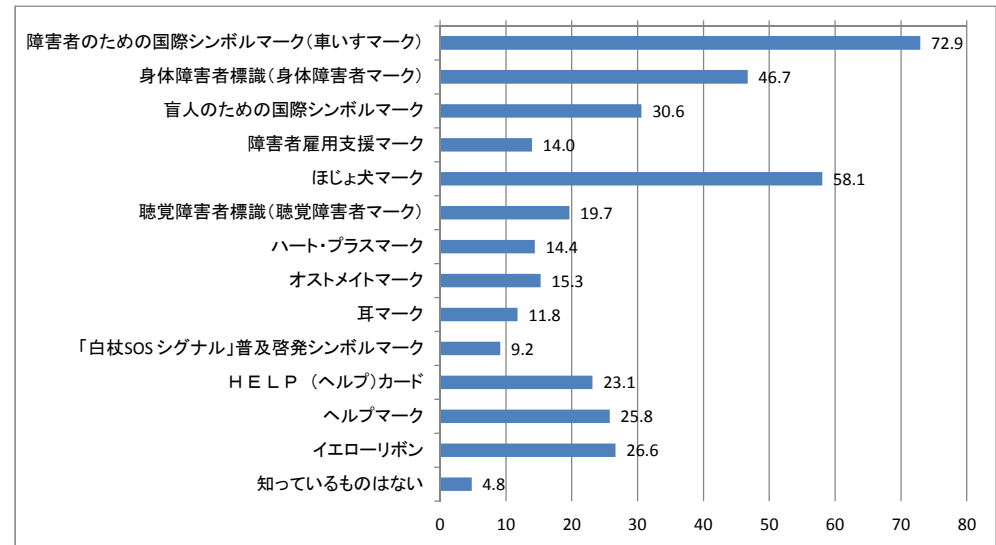
問11 障害のある人が、障害のない人と同じように生活していくためには、さまざまな配慮や工夫が必要になります。一方、こうした配慮や工夫を行うには、経済的な負担を伴う場合もあります。あなたは、企業などがこうした配慮や工夫をどの程度行うべきと考えますか。

回答	人数	%
負担の程度にかかわらず、配慮や工夫をするよう義務付けるべきと思う	37	16.2
負担の程度にかかわらず、配慮や工夫を行うよう努力すべきと思う	50	21.8
可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫をするよう義務付けるべきと思う	70	30.6
可能な範囲の負担であれば、配慮や工夫を行うよう努力すべきと思う	54	23.6
全て企業などの自主的な判断に委ねるべきと思う	9	3.9
わからない	9	3.9



問12 障害者団体などでは、障害のある人を支援するため、さまざまなマーク等を作成し、周知に努めています。あなたが知っているマーク等がありますか。（該当するものすべてを選択）

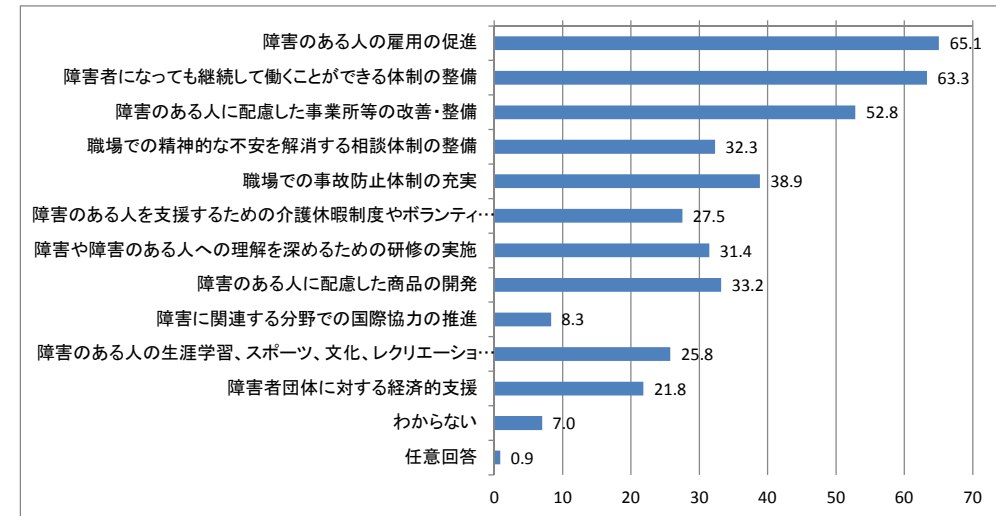
回答	人数	%
障害者のための国際シンボルマーク（車いすマーク）	167	72.9
身体障害者標識（身体障害者マーク）	107	46.7
盲人のための国際シンボルマーク	70	30.6
障害者雇用支援マーク	32	14.0
ほじょ犬マーク	133	58.1
聴覚障害者標識（聴覚障害者マーク）	45	19.7
ハート・プラスマーク	33	14.4
オストメイトマーク	35	15.3
耳マーク	27	11.8
「白杖SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク	21	9.2
HELP（ヘルプ）カード	53	23.1
ヘルプマーク	59	25.8
イエローリボン	61	26.6
知っているものはない	11	4.8



問13 あなたは、障害のある人のために企業や民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。（該当するものすべてを選択）

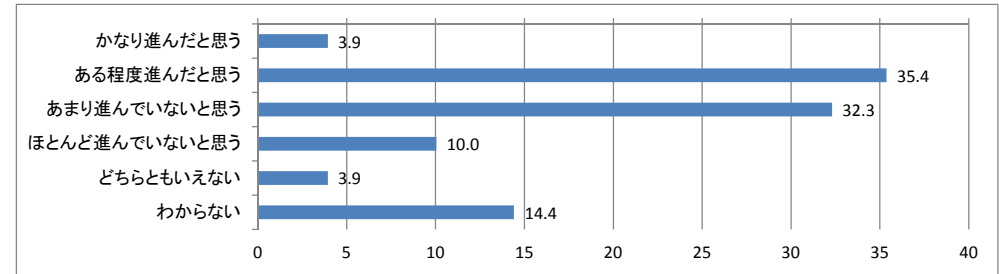
回答	人数	%
障害のある人の雇用の促進	149	65.1
障害者になっても継続して働くことができる体制の整備	145	63.3
障害のある人に配慮した事業所等の改善・整備	121	52.8
職場での精神的な不安を解消する相談体制の整備	74	32.3
職場での事故防止体制の充実	89	38.9
障害のある人を支援するための介護休暇制度やボランティア休暇制度の充実	63	27.5
障害や障害のある人への理解を深めるための研修の実施	72	31.4
障害のある人に配慮した商品の開発	76	33.2
障害に関連する分野での国際協力の推進	19	8.3
障害のある人の生涯学習、スポーツ、文化、レクリエーション活動に対する支援	59	25.8
障害者団体に対する経済的支援	50	21.8
わからない	16	7.0
任意回答	2	0.9

- ・障害者への金銭補助
- ・職場交流(友人作り)



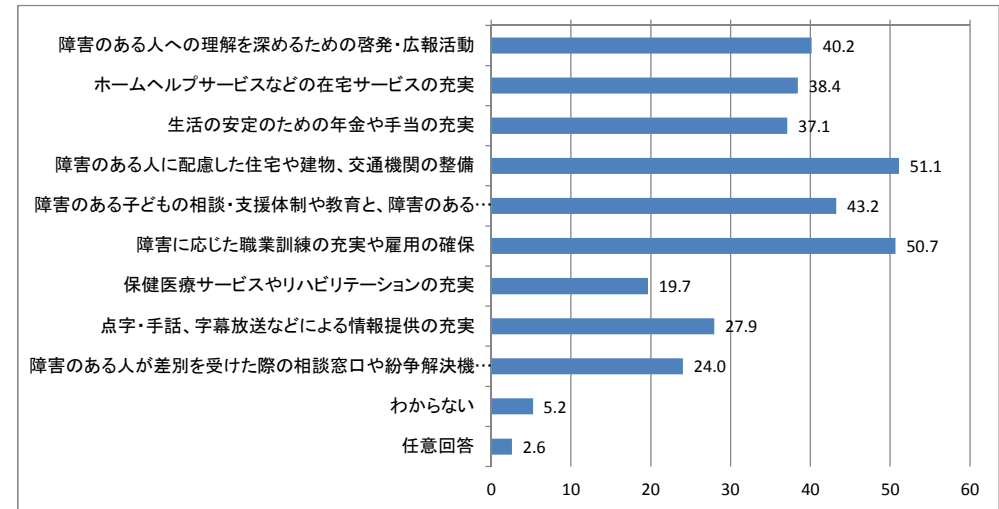
問14 あなたは、5年前と比べて問15の選択肢のような障害者施策が進んだと思いますか。

回答	人数	%
かなり進んだと思う	9	3.9
ある程度進んだと思う	81	35.4
あまり進んでいないと思う	74	32.3
ほとんど進んでいないと思う	23	10.0
どちらともいえない	9	3.9
わからない	33	14.4



問15 障害のある人に関する行政の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをあげてください。（該当するものすべてを選択）

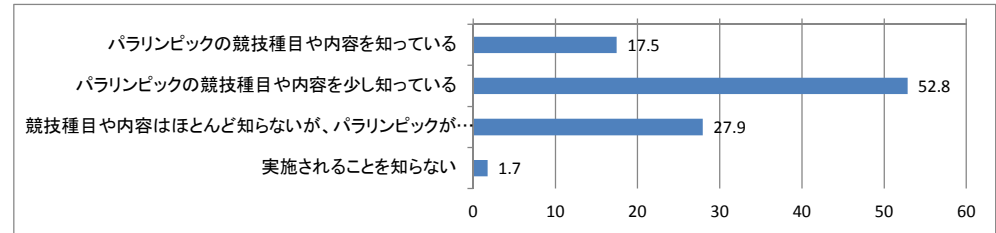
回答	人数	%
障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動	92	40.2
ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	88	38.4
生活の安定のための年金や手当の充実	85	37.1
障害のある人に配慮した住宅や建物、交通機関の整備	117	51.1
障害のある子どもの相談・支援体制や教育と、障害のある人への生涯学習の充実	99	43.2
障害に応じた職業訓練の充実や雇用の確保	116	50.7
保健医療サービスやリハビリテーションの充実	45	19.7
点字・手話、字幕放送などによる情報提供の充実	64	27.9
障害のある人が差別を受けた際の相談窓口や紛争解決機能の充実	55	24.0
わからない	12	5.2
任意回答	6	2.6



- ・障害がある人の家族が普通に社会に溶け込ませることができるようにするサポート
- ・官庁自体の障害者雇用基準の履行
- ・障害者自身が自ら受けることができる支援を知ることができる啓発・広報活動
- ・職場交流
- ・差別がなく誰でも隔たりのないユニバーサルな世界
- ・障害者への金銭補助・負担軽減

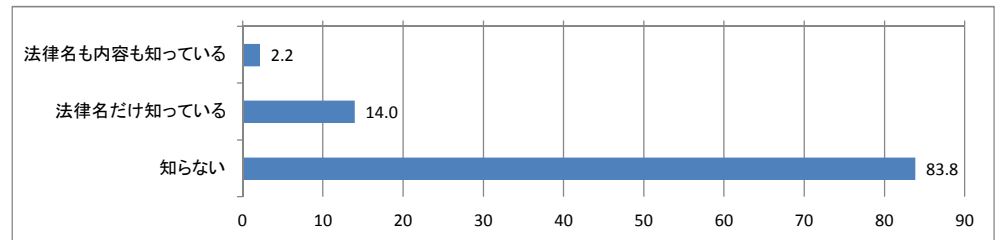
問16 2020年に東京でパラリンピック競技大会が開催される予定です。さまざまな国と地域から多くの障害のある人がパラリンピックに参加することが見込まれますが、あなたは、東京パラリンピックを知っていますか。

回答	人数	%
パラリンピックの競技種目や内容を知っている	40	17.5
パラリンピックの競技種目や内容を少し知っている	121	52.8
競技種目や内容はほとんど知らないが、パラリンピックが実施されることは知っている	64	27.9
実施されることを知らない	4	1.7



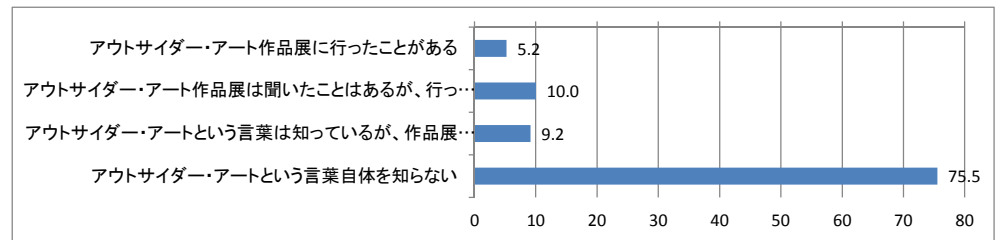
問17 平成30年6月に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行されたことにより、障害のある人の文化芸術の裾野拡大と振興を目指した事業が全国的に展開されています。あなたはこの法律を知っていますか。

回答	人数	%
法律名も内容も知っている	5	2.2
法律名だけ知っている	32	14.0
知らない	192	83.8



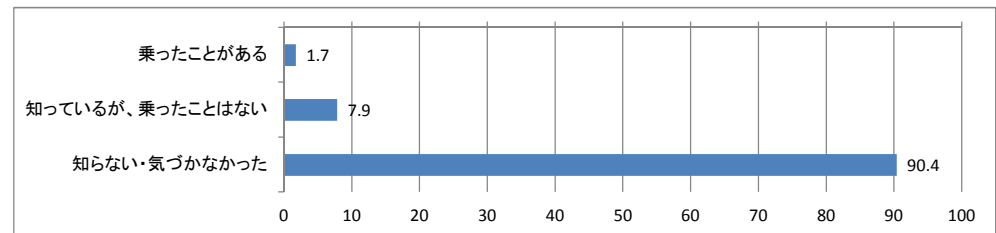
問18 金沢市では、優れた芸術的才能をもつ知的障害のある人等の創作活動に対し、創作環境や発表の場などのサポートを行う等のアートによる就労活動支援事業を実施しています。その一環として、毎年、金沢21世紀美術館等でアウトサイダー・アート作品展を開催しています。あなたはアウトサイダー・アート作品展に行ったことがありますか。

回答	人数	%
アウトサイダー・アート作品展に行ったことがある	12	5.2
アウトサイダー・アート作品展は聞いたことはあるが、行ったことはない	23	10.0
アウトサイダー・アートという言葉は知っているが、作品展は知らない	21	9.2
アウトサイダー・アートという言葉自体を知らない	173	75.5



問19 昨年度よりアウトサイダー・アート作品をふらっとバス車内に展示した「金沢アウトサイダー美術館 i nふらっとバス」を運行しており、今年度は全車両に拡大する予定です。あなたは「金沢アウトサイダー美術館 i nふらっとバス」に乗ったことがありますか。

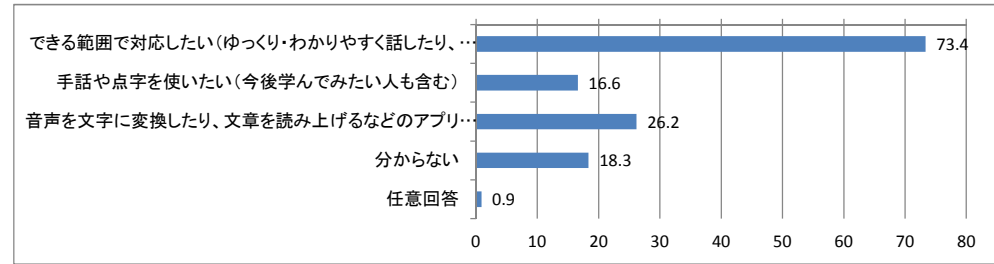
回答	人数	%
乗ったことがある	4	1.7
知っているが、乗ったことはない	18	7.9
知らない・気づかなかった	207	90.4



問20 障害のある人の中には、目が見えない、耳が聞こえない、多くのことをすぐに理解することが難しいなどのために、文字や音声、早口の会話などでは必要とする情報が得られなかったり、理解が難しいなど、コミュニケーションに配慮が必要な人もいます。こうした障害のある人が社会でいきいきと生活できるよう、あなたが障害のある人とのコミュニケーションにおいて支援したいと思うことを教えてください。（該当するものすべてを選択）

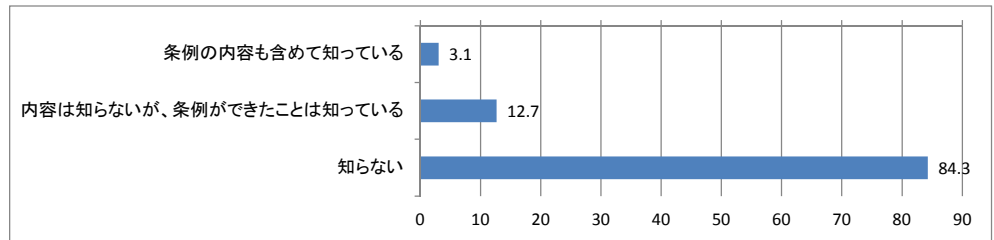
回答	人数	%
できる範囲で対応したい（ゆっくり・わかりやすく話したり、筆談を行うなど）	168	73.4
手話や点字を使いたい（今後学んでみたい人も含む）	38	16.6
音声を文字に変換したり、文章を読み上げるなどのアプリケーションを使いたい（今後使ってみてみたい人も含む）	60	26.2
分からない	42	18.3
任意回答	2	0.9

- ・パソコン要約筆記をしている
- ・身体障害なので、手が不自由なので手話ができにくいので、手話通訳できない



問21 金沢市では手話への理解の促進及び手話の普及を図り、ろう者とろう者以外の者が相互に人格及び個性を尊重し合いながら共生する地域社会を実現するため、手話への理解の促進及び手話の普及についての基本理念、市、市民及び事業者の役割、基本的な施策等必要な事項を定める「手話言語条例」を、平成29年に施行しました。あなたは、手話言語条例について知っていますか。

回答	人数	%
条例の内容も含めて知っている	7	3.1
内容は知らないが、条例ができたことは知っている	29	12.7
知らない	193	84.3



問22 金沢市では、障害のある人とともに考える「市民フォーラム」を開催していますが、あなたは参加したことがありますか。

回答	人数	%
参加したことがある	4	1.7
参加したことはないが、知っている	46	20.1
知らない	179	78.2

